

令和元年度 授業改善推進プラン

教育目標

○よく考える子 ○やさしい子 ○げんきな子

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 学習指導要領
- 東京都教育目標
- 港区教育目標

- 学校・家庭・地域の願い
- 保護者・地域の期待や願い
- 期待される児童像

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）

- ☆基礎基本の確実な定着
- ☆校内研究、OJTの充実
- ☆複数担当制の充実
- ☆算数少数教習熟度別指導の充実
- ☆読書活動の充実
- ☆言語活動とICT教育の充実
- ☆国際科の推進
- ☆体験学習・調べ学習の充実
- ☆「特別な教科」道徳の充実

各教科の指導の重点を確実に児童に身に付けさせるため次の取組を行います

道徳教育の指導の重点	教科名	取組内容	生活指導の重点
<p>○児童が主体的に道徳的価値を考えられるよう、児童や地域の実態に応じた資料を活用する。</p> <p>○学習の中に「自分の考えを議論する場面」や「役割演技をする場面」など様々な形態の活動を取り入れる。</p>	国語	<p>◎話す・聞く力を育成するために日頃から授業で取り上げて、手本を示すなどして主体的・対話的に表現できる資質・能力を育成する。</p> <p>○学習内容の理解、表現力、語彙力を育成するために、言葉調べを行った文章に触れる機会を多く設定したりする取組を行う。</p>	<p>○相手の顔を見て自分から気持ちのよいあいさつができるようにする。</p> <p>○問題行動の指導の際は迅速な指導を行い、その児童を認める機会ととらえる。</p> <p>○教職員が連携を密にするために迅速な報告、連絡、相談を徹底する。</p>
	社会	<p>◎見学、調査活動を一層重視するとともに、資料から分かったことを比較・関連付けることでその違いに気付かせたり、原因について考えさせたりして、対話的に課題解決ができるようにする。</p> <p>○発問や資料の提示を工夫し、児童の主体的な取組を促す。</p>	
	算数	<p>◎考えを筋道立てて説明し合ったり、考えの共通点や相違点を全体で検討したりする時間を確保していくことで論理的に説明する力を伸ばし、考えの共通点を見出そうとする態度を養う。</p> <p>○日常の事象を問題場面としたり、操作的活動や実測定を取り入れたることで量感覚を養い、概測・概算する力を高める。</p>	
	理科	<p>◎実験結果を基に各自の考察を比較する活動を取り入れることで、様々な物の見方や考え方を養う。</p> <p>○問題→予想→実験→結果→考察→結論の見通しをもった問題解決型ありのプロセスを継続して指導し、課題意識をもたせて観察や実験を行うことで知識及び技能の定着を図る。</p>	
	生活	<p>◎校庭や公園等の自然に親しんだり、季節ごとの変化を感じたりする活動を通して、飼育や観察に興味をもち、分かったことや気付いたことを友達と交流して高め合えるように指導する。</p> <p>○場の設定や体験的活動の工夫を通して自分を取り巻く身の回りのことに興味をもたせる。</p>	
	音楽	<p>◎聴き取り感じ取ったことを基に対話したり、協働しながら音楽表現を生み出したりする学習を充実させ、学びを深めるようにする。</p> <p>○課題提示や振り返りの場面で学習内容と生活の中の音や音楽との関わりに触れ、学習したことを生活に生かす意識をもてるようにする。</p>	
	図画工作	<p>◎新しい材料や道具をたくさん体験させ、技能をスモールステップで積み上げることで主体的に作品製作に取り組めるようにする。</p> <p>○自分の考えを深めるために鑑賞資料の掲示、見本展示棚等を新設し教室内の安全な環境整備を充実する。</p>	
	家庭	<p>◎目的に合った布製品を製作したり、家族の一員として食事の献立を作成したりするなどの児童が主体となって活動する力を身に付けさせる。</p> <p>○学習したことを家庭で実践できる技能を身に付ける。</p>	
	体育	<p>◎運動の仕方やポイントの分かりやすい資料や動画を児童に提示し、児童が協同的に動き方について確かめたり助言したりできるようにする。</p> <p>○ICT機器を活用して運動の振り返りを行い、児童がお互いに運動の技能や改善点について話し合うことができるようにする。</p>	
	総合的な学習の時間の重点		

本校の授業改善に向けた視点

教育課程編成上の工夫	指導方法・指導体制の工夫	評価活動の工夫	校内における研究や研修の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>○情操教育・文化的行事の設定 (国際科発表会・音楽会・学芸会・展覧会・花育)</p> <p>○基礎学習タイムの設定</p> <p>○わくわくタイムの設定</p> <p>○三田アカデミーの充実</p>	<p>○時間講師・少数教指導の工夫</p> <p>○学習支援地域本部の活用</p> <p>○ICT機器の活用</p> <p>○体験学習・調べ学習の充実</p> <p>○言語活動の充実</p>	<p>○複数指導者による評価</p> <p>○指導計画の見直し、カリキュラムマネジメントの充実</p> <p>○外部評価の充実</p>	<p>○校内研究の充実</p> <p>○研究発表会に向けての授業力の向上</p> <p>○年間を通してのOJT研修の実施</p> <p>○主幹・主任教諭による伝達研修</p> <p>○服務事故(体罰)防止研修会</p>	<p>○学校支援地域本部の活用</p> <p>○家庭学習の工夫</p> <p>○個人面談の充実</p> <p>○開かれた学校づくり</p> <p>○外部人材との指導連携</p>

